

入学生の皆さんへ

1 学年担任団一同

ご入学、おめでとうございます。入学式はできませんでしたが、皆さんはすでにれっきとした南多摩生です。南多摩中等教育学校が起ちあがって、11 番目の入学生、11 期生です。胸を張ってください。これからの6年間、その11期生160名全員が、南多摩生としての自覚と誇りをもって、充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

生活について

学年主任の今川です。入学式の時に皆さんに配布したかった学年通信が、配送されるゆうパックに入っています。学年通信のタイトルは、『^{うんがいそうてん}雲外蒼天』です。これは、試練（雲）を乗り越えて努力していけば、必ず明るい未来（青空）が待っている、という意味です。まさに今の皆さん、そして今の日本中の人々、世界中の人々に向けて発信したいメッセージです。皆さんへの私たち担任団の思いを受け止めてほしいと思っています。入学式もできず、皆さんは何かモヤモヤした気持ちになっているかもしれません。しかし、南多摩生として、後ろ向きにならず、前を向いて進んでいきましょう。では、これから学校再開までの休業中の過ごし方、自宅での生活のポイントをお伝えします。

○基本的な生活習慣を送りましょう。

学校がいつ再開されても良いように時間は“南多摩ライフ”に合わせて過ごしましょう。

登校 … 8:15

下校 … 16:00（部活動があれば18:00）

この時間に合わせて、起床、食事、学習、就寝などの時間を決め、1日の過ごし方の計画を立てます。その際、配送されるゆうパックに入っている『NOLTY手帳』を使います。

「使い方 STEP1」に従って記入します。学校が再開された時、この『NOLTY手帳』を必ず提出してもらいます。その後も定期的に提出してもらうことになります。

ねらいは、自分で自分のことをコントロールする力を養うことです。ひいては“自律”をしてもらうことです。先輩たちも『NOLTY手帳』を活用して自律した南多摩生として生活しています。いつまでも親に言われて行動するのではなく、自分のことは自分でやる、できる、やろうとする、自律した中学生になってもらいたいのです。頭と心と体を“南多摩ライフ”に慣らしてゆきましょう。

○各教科の学習を計画的に進めましょう。

学習については、学年通信『雲外蒼天』の右ページの各教科からの指示と国語・数学・英語の課題についての説明プリントに書いてある指示に従ってやりましょう。この後で述べる国語・数学・英語の3教科の学習に対するアドバイスも参考にしてください。教科書と補助教材もゆうパックに同封しました。

また、学習を進める時、必ず学校の時間割の時刻（『南多摩まるわかり BOOK』の7ページを見ましょう）に沿って進めましょう。この休業中、ダラダラ過ごしてしまうと、いざ学校が再開された時、周りついていくのが大変になります。中等教育学校の1コマの授業時間は50分です。学校の時間割の時刻を踏まえ、学習時間（50分）と休み時間（10分）をバランスよく配置して、メリハリつけて進めていきましょう。

そして、ここでも『NOLTY手帳』を使います。学習した教科や内容を時間とともに手帳に記録していきます。まずは、各教科から出された課題・作文をやりましょう。それがすべて終わったら、自分で何をやるか、積極的に決めていきましょう。学校再開後、皆さんがどのように過ごしたか、『NOLTY手帳』で確認したいと思います。

○体調管理をしっかりおこない、からだを動かそう。

これを機会に、自分の心とからだをコントロールする力を養いましょう。充実した生活を送るためには、健康な心と体が必要です。まずは体調管理です。配送されるゆうパックに入っている『健康観察表』を使って、健康観察を心がけましょう。朝夕の体温チェックは励行してください。自宅での適度な運動も計画的に行いましょう。その他、同じくゆうパックに入っている『臨時休業中の過ごし方』を参考に、中学生として、南多摩生としての自覚をもって、有意義な過ごし方をめざしていきましょう。

以上が学習も含めた生活全般についてのポイントでした。次に、学習の具体的な進め方や休業中の課題について、特に国語・数学・英語の担当教員から、アドバイスをお伝えします。

3教科について

【国語】

1年担任、国語科の宮田です。課題について、詳細はプリントにありますが、少しお話したいと思います。

①は、プリントの解答で答え合わせをします。大切なことは、解説をよく読み納得することです。また、問題を解くだけでなく、文章の内容を理解するまで何度も読みましょう。

②の漢字は、まずは何も見ずに自分の力で解答します。それから上段を見て、細かいところまでよく確認します。すべてを埋めたら、今度は覚えるまでノートに練習しましょう。漢字と共に横に赤字で書いてある意味も覚えていきましょう。漢字の学習は読み書きの基礎となります。漢字検定も1年に一度は校内で実施する予定です。コツコツと積み上げていきましょう。

③の百人一首カードについてです。本校では、1月、1・2年生を対象に百人一首大会を開催しています。その際、生徒自身が作成したカルタを使用しています。そのカルタが、今回作成する百人一首カードです。ステープラ止めの冊子と課題一覧の裏を参考にして作成して下さい。筆ペンは少し練習をして、慣れて下さいね。うまく書けないと心配する必要はありません。丁寧に書くことが一番です。一日に書く枚数を決めて計画的に完成させましょう。

課題については以上ですが、ぜひ読書をしましょう。このような時ですので、可能な範囲で読んでもらえたらと思います。最初の授業で説明しますが、これから日々の読書の記録をする読書ノートを作っていきます。この休業期間は、『NOLTY手帳』のどこにでもいいので、読んだ本の題名や作者、感想を簡単にメモしてみましょう。

【 数 学 】

1年担任、数学科の廣田です。数学の課題について補足します。

今回の課題は教科書と問題集がありますが、新しい単元から出しているので、必ず教科書から手をつけましょう。①本文を読んで新しい内容を理解する、②例題を理解する、③練習問題を解く、の順番に進めてみてください。問題集は、教科書がすべて終わってから始めても、教科書と並行して進めても構いません。いずれにしても、まずは教科書の内容をしっかりと理解できるよう丁寧に取り組んでください。

配送したプリントに書いた通り、授業でも復習する時間を取ります。理解できないところがあっても心配いりません。むしろまだ習っていない内容ですから、あって当然です。印をつけるなどして、学校が始まってから質問できるようにしておきましょう。ただし、すぐにわからないと決めつけてしまうのではなく、考えることを大切にしてください。わからないことを解決しようとする過程が、数学の力を伸ばします。

最後に、もし課題が早く終わってしまった場合ですが、問題集をもう1周解いてみてください。これは、皆さんの先輩たちも行っていることです。間違えた問題だけを3周4周する人や、計算スピードを上げるために時間を計って解いている人もいます。参考にしてみてください。

【 英 語 】

1年担任の俵です。私からは英語学習に関してお話ししたいと思います。

英語に限らず、言語と呼ばれるものの基礎となるのは母語の力、つまり“国語力”です。豊かな国語力があってこそ豊かな外国語力を習得できます。

読解を例に挙げますと、母語で理解できない文章は英語で理解できるはずがないですよ。どれほどたくさん英単語を知っていても、どれほど文法を理解していたとしても、母語の力がそれを理解するレベルになれば無意味なのです。

そういう意味で君たち中学1年生が今後の前期課程3年間で取り組むべきことは、①とにかく母語の知識を増やし、母語のセンスを養う、②それと同時に英語の学習に取り組む、この2つです。(母語が大事だからと言って英語は後回しで良いわけではありません。) 具体的にはまずは読書になりますが、図書館や書店が休みの場合も多いと思うので、お家の人に協力してもらってインターネットでできるものを探してもらっても良いでしょう。

以上、参考になれば幸いです。

終わりに

学年団としましては、学校が再開されるまで、学年通信『雲外蒼天』を必要に応じて作成し、皆さんに郵送することを考えています。楽しみに待っていてください。

※ 保護者の皆様へ

お子様の御入学、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今まで大切に育ててこられたお子様を、南多摩中等教育学校に預けていただき、誠にありがとうございます。お子様のこれからの成長を、私たち担任団はじめ、本校教職員一同は、全力でサポートしていきたいと考えております。そのためには、学校と御家庭との信頼関係、協力関係が何より大切であると感じております。私たちは、保護者の皆様と緊密に連携して、この困難に打ち勝ち、本校のすべての教育活動に専念していく所存です。6年間、何卒よろしくお願い致します。

また、お子様の中学校生活のスタートから、臨時休業という状況になってしまいましたが、私たちも与えられた環境の中で、学校再開に向けて最善を尽くしていきたいと思っております。御心配・御不安があると思っておりますが、保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、入学式に関しましては、今後その有無も含めてまだ何も決まっておられませんことを御承知おきいただけますよう、お願い申し上げます。

最後に、今後も引き続き、本校のホームページにて、新たな情報等を御確認していただきますよう、お願い申し上げます。